

第34回全日本大学男子選手権大会

平成11年8月8日(日)～10日(火) 宮城県矢本町/矢本町鷹来の森運動公園



立命館大、3年ぶり2度目の優勝!

日ソ協記録委員
山崎 修

標記大会は、宮城県北東部に位置し、来る21世紀へ向け「夢はばたけ 人輝け やもと未来」を合言葉に、「新世紀みやぎ国体」の開催へ向け、着々と整備が進む矢本町鷹来の森運動公園で国体のリハーサルを兼ねて開催された。大会には、全国の精鋭32チームが参加。頂点をめざし、熱戦が展開された。

ベスト4には、3連覇をめざす名門「日本体育大」。3年ぶりに王座奪回をもくろむ立命館大。「全員ソフト」を展開し、初優勝に意気込む早稲田大。10年ぶりのベスト4進出を果たし、勢いに乗る福岡大。以上の4チームが勝ち上がった。

準決勝、立命館大対日本体育大は、立命が日体・川口の立ち上がりを攻め、初回到先制。先頭打者の牛嶋が四球で歩き、3番・久保の左越二塁打であったり先取点を挙げた。

一方、日体もすかさず反撃。その裏、4番・原田の2点本塁打で逆転に成功した。

1点を追う立命は2回、7番・古里が左越本塁打を放って同点。4回には9番・福島の3点本塁打などで4点を勝ち越し。続く5回にも4番・谷本が中越本塁打を放ち、粘る日体を突き放した。

3連覇へ執念を燃やす日体も5番・

杉田が2打席連続の本塁打を放つなど、必死の反撃を見せたが、あと一歩およばなかった。

もう一方のゾーン、福岡大対早稲田大は、早稲田が2回に先手を取り、5番・藤見の三塁線へのバントヒットを足掛かりに3安打で2点を先制。3回、4回、5回にも小刻みに加点し、着々とリードを広げた。

守っては、エース・田原が福岡打線を本塁打による1点のみに封じ、7年ぶりの決勝へ駒を進めた。

決勝戦、早稲田大対立命館大は、早稲田が2回、この回先頭の4番・田部井が左中間を破る二塁打で出塁。続く5番・藤見の遊撃前のプッシュバントを遊撃手が一塁へ悪送球。労せずして1点を先制し、なお無死二塁とし、次打者の遊撃ゴロの間に三進。7番・畝森の二塁ゴロの間に三塁走者が生還。この回2点を挙げた。続く3回にも4番・田部井の二・遊間タイムリーで1点を追加。試合を優位に進めた。

3点を追う立命は4回に打線が爆発。一死から4番・谷本が右越本塁打を放って反撃の口火を切り、四球、安打、敵失で2点目。なお二死一・三塁と攻め立て、9番・福島が左中間へ値千金の逆転本塁打。一気に試合を引っ繰り返した。勢いづいた立命は6回、9番・福島が2打席連続の本塁打。ダメ押し

の2点を加え、勝利をグッと引き寄せた。

守つては、後半立ち直ったエース・古里が粘り強いピッチングで早稲田打線を抑え込み、3年ぶり2度目の優勝を手にした。

記録面では、日本体育大の和佐野弘一選手の1試合3本塁打、沖縄国際大・玉城国聡選手の1試合8打点という新記録が生まれた。

また、投手部門では、優勝に大きく貢献し、5試合すべてを一人で投げ抜き、奪三振35、防御率1・79の成績を残した立命館大・古里公一投手の活躍が最も印象に残った。

打撃部門では、本大会4本塁打を放ち、とりわけ決勝戦での2打席連続本

塁打を放った立命館大・福島潤選手、打率7割2分7厘と驚異的なハイアベレージを残した沖縄国際大・真栄城校

選手の活躍が目立った。



▲優勝投手となった立命館・古里

第34回全日本大学男子選手権大会

1	日本体育大(東京)	19	8
2	鹿児島経済大(鹿児島)	0	0
3	成蹊大(東京)	0	0
4	岡山理科大(岡山)	15	0
5	城西大(埼玉)	3	7
6	第一経済大(福岡)	1	1
7	宮城教育大(宮城)	1	0
8	四国大(徳島)	15	0
9	高崎経済大(群馬)	2	5
10	関西大(大阪)	1	3
11	富山大(富山)	0	13
12	沖縄国際大(沖縄)	7	7
13	福島大(福島)	6	1
14	常葉学園大(静岡)	26	1
15	中央大(東京)	0	3
16	立命館大(京都)	3	3
17	早稲田大(東京)	4	2
18	熊本学園大(熊本)	1	4
19	中京大(愛知)	0	0
20	京都産業大(京都)	5	5
21	国士館大(東京)	20	7
22	四国学院大(香川)	2	2
23	関東学園大(群馬)	3	3
24	大阪経済法科大(大阪)	2	3
25	仙台大(宮城)	0	15
26	福岡大(福岡)	3	1
27	千葉大(千葉)	0	0
28	福山平成大(広島)	5	1
29	学習院大(東京)	0	1
30	神戸学院大(兵庫)	11	0
31	愛知大(愛知)	4	0
32	東海大(神奈川)	7	7

立命館大

準決勝

立命館大	1	1	0	4	1	0	0
日本体育大	2	0	0	2	0	1	0
	5	1	0	0	1	0	7

(立) ○古里—久保
(日) ●川口—杉田

▽困古里、福島、谷本(立) 原田、杉田②(日) 田久保(立)

(審) P 鈴木 1 菊地 2 白鳥 3 大友(記) 山家

準決勝

福岡大	0	0	0	0	1	0	0
早稲田大	0	2	1	1	1	0	X
	5	1	1	1	0	X	1

(福) ●澤岬—中尾—溝口

(早) ○田原—森反—田部井

▽困一ノ瀬(福) 田原(早)

(審) P 鈴木 1 石川 2 鎌田 3 横山(記) 大友

快進撃を続けた早稲田。決勝で力尽きる……



決勝

早稲田大	0	2	1	0	1	0	0
立命館大	0	0	0	5	0	2	X
	7	4	1	0	0	2	X

(早) ●田原—森反—田部井
(立) ○古里—久保

▽困谷本、福島②(立) 田原(早) 田部井(早)

(審) P 遠藤 1 佐藤 2 眞殿 3 三條(記) 鈴木

福岡大も健闘したが……

